

定期報告徴収により取得した情報の報告

平成 2 8 年 1 0 月 2 1 日 (金)



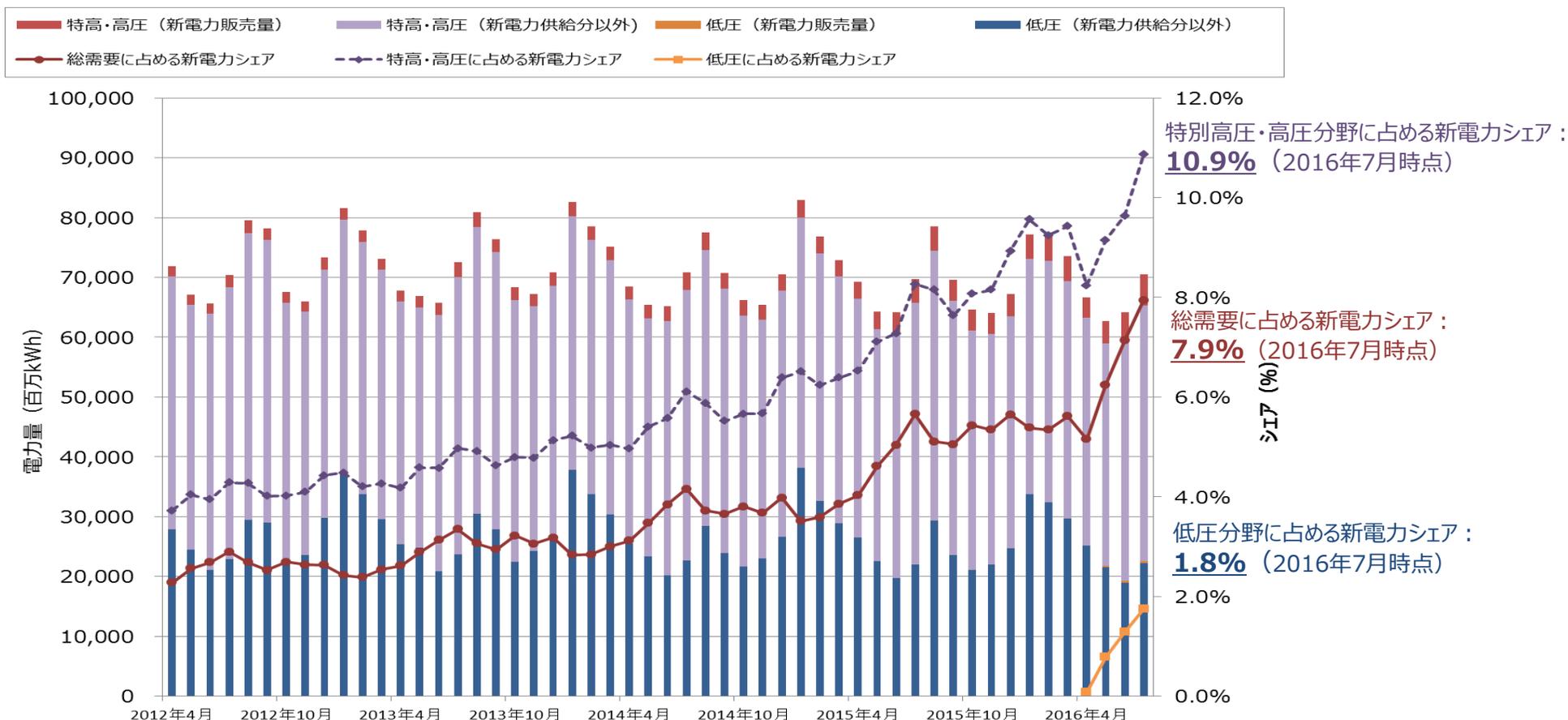
電力・ガス取引監視等委員会
Electricity and Gas Market Surveillance Commission

新電力の市場シェア

小売取引

- 新電力の販売電力量シェアは特高・高圧分野で初めて10%を超えた。2016年7月時点において、特高・高圧分野における新電力シェアは約10.9%（前月：約9.6%）、低圧分野に占める新電力シェアは1.8%（前月：約1.3%）、総需要に占める新電力の市場シェアは約7.9%（前月：約7.1%）となっている。

新電力の市場シェア（2012年4月～2016年7月）

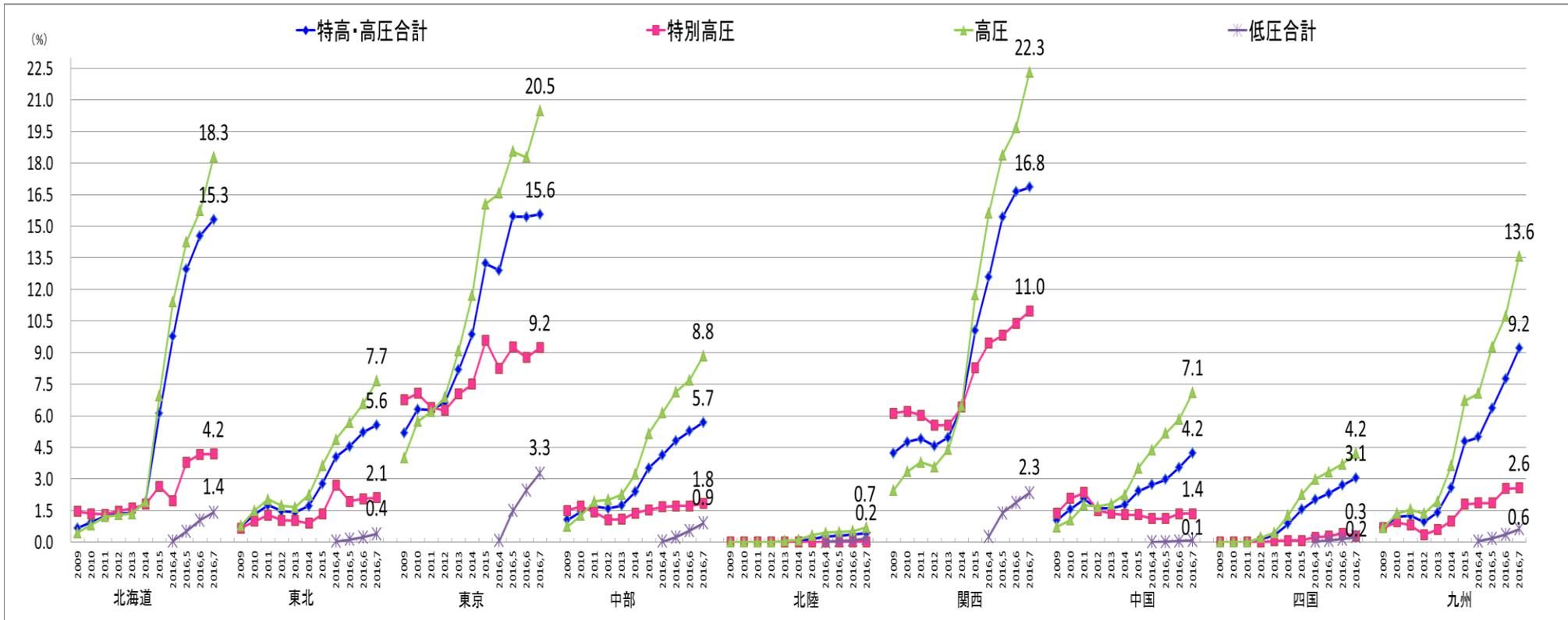


(出所：電力調査統計、定期報告徴収データより事務局作成)

地域別の新電力シェア

小売取引

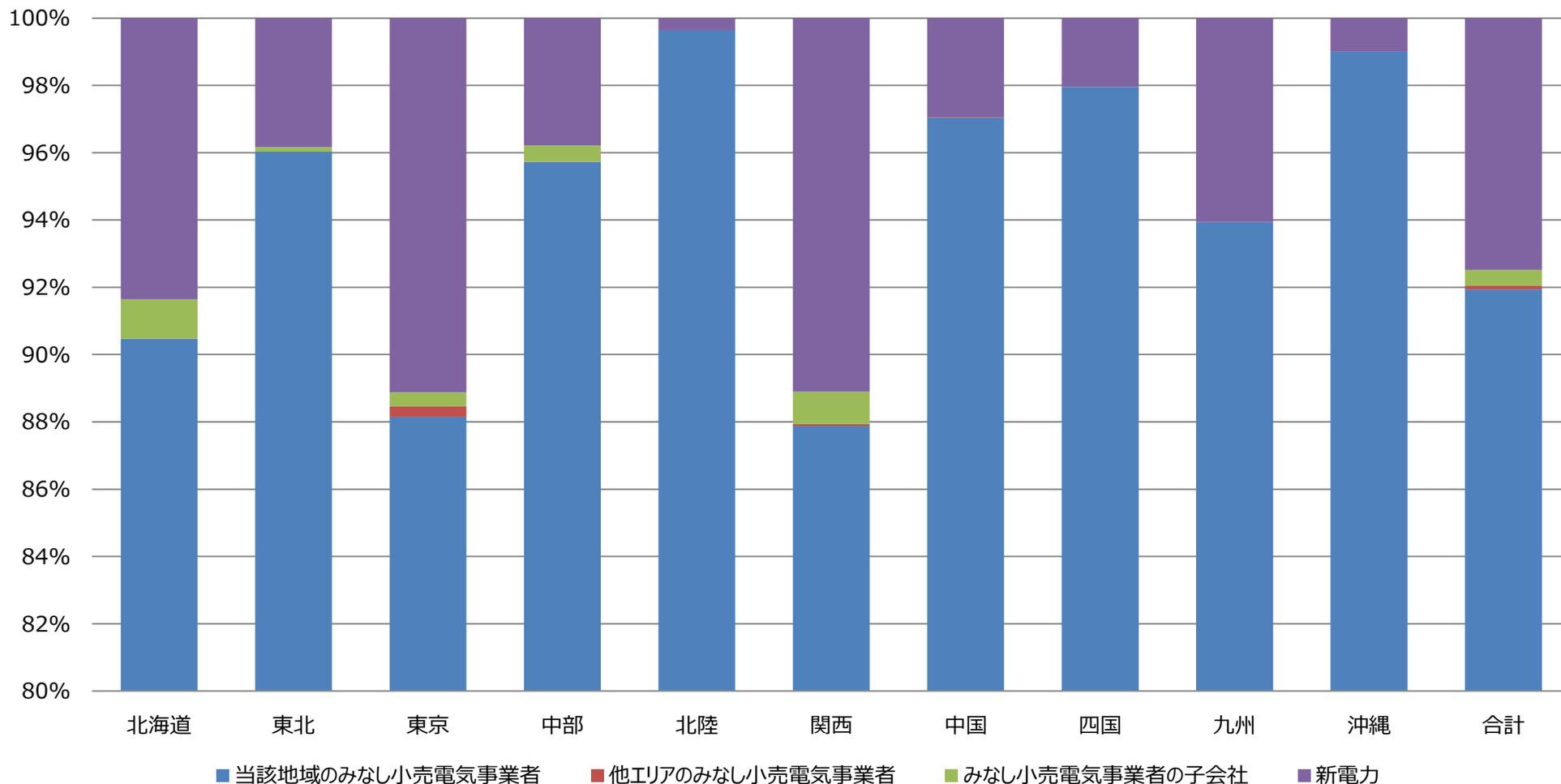
- 地域別の新電力シェアは、東京エリアの特別高圧分野を除き、すべて増加傾向にある。新電力の販売電力シェアが高い地域として、関西、東京、北海道が挙げられる。



地域毎の事業者別シェア（全電圧）

小売取引

- みなし小売電気事業者及びその子会社による旧供給区域外への進出は進んでおらず、旧供給区域外への供給は全体の約0.6%（前月約0.5%）。地域別では、北海道、東京、中部、関西地域において域外供給が存在する。

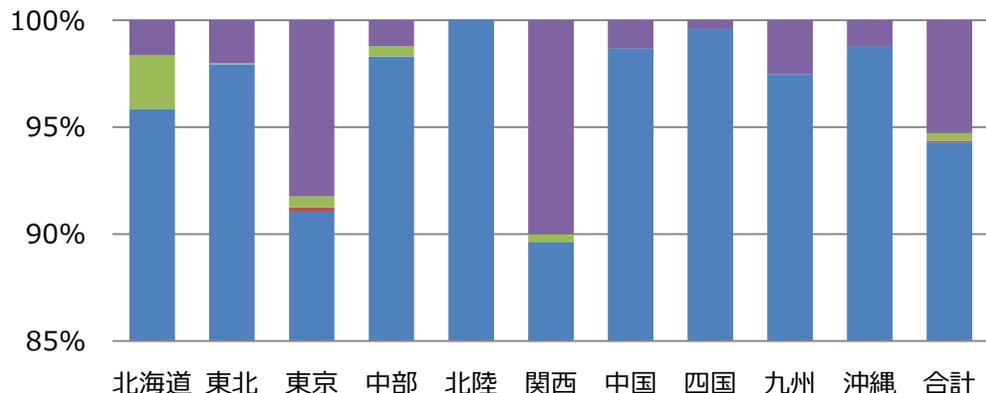


地域毎の事業者別シェア（電圧別）

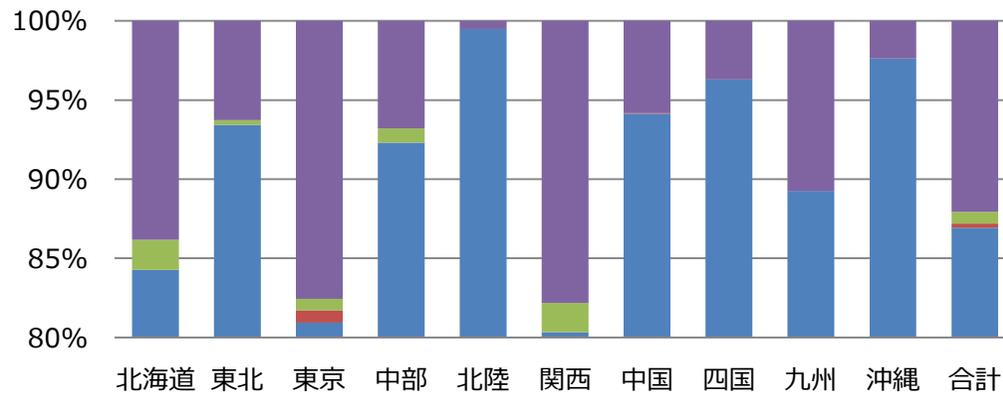
小売取引

● 特別高圧、高圧分野では、北海道や関西、東京を中心にみなし小売電気事業者やその子会社による旧供給区域外の電力供給が行われている。低圧分野では、みなし小売電気事業者やその子会社によるエリア外供給は一般的に進んでいないが、関西ではエリア外供給の割合が比較的多い。

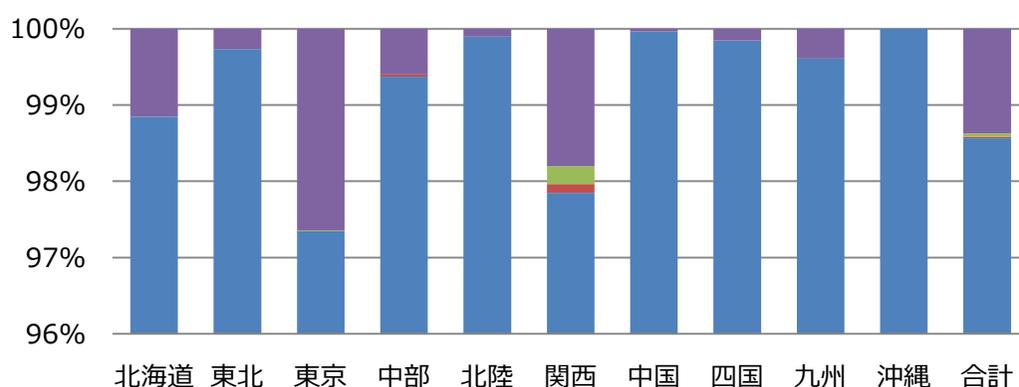
特別高圧



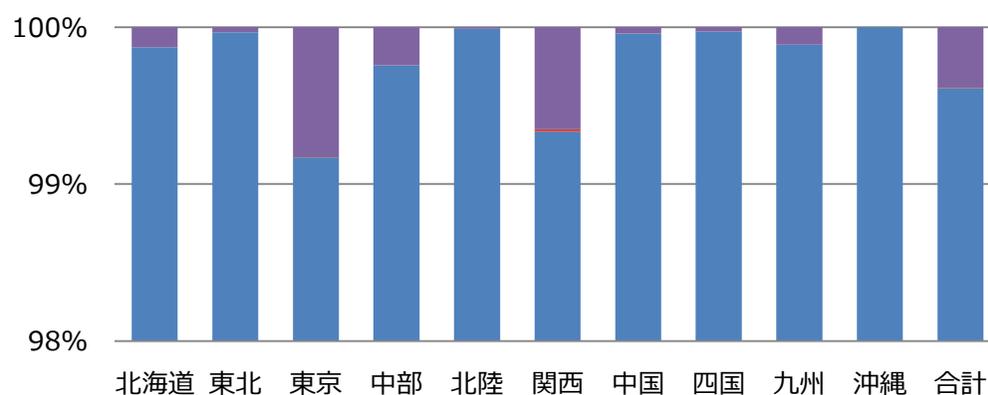
高圧



低圧電灯



低圧電力



■ 当該地域のみなし小売電気事業者 ■ 他地域のみなし小売電気事業者 ■ みなし小売系新電力 ■ 新電力

【参考 1】平成28年7月の新電力の販売電力量シェア（全電圧）

小売取引

- トップ20社の顔ぶれに変動はないが、東京ガス株式会社、イーレックス株式会社が先月と比較して大きく順位を上昇させている。なお、東京ガスは全国の新電力の低圧需要の約35%を確保している。

順位	事業者名	販売電力量(MWh単位)	新電力シェア
1(1)	株式会社エネット	1,202,365	21%
2(2)	株式会社 F-Power	749,191	13%
3(3)	丸紅新電力	388,945	7%
4(4)	J Xエネルギー株式会社	287,265	5%
5(5)	オリックス株式会社	216,869	4%
6(6)	サミットエナジー株式会社	171,886	3%
7(7)	テプコカスタマーサービス	168,464	3%
8(8)	日本テクノ株式会社	154,860	3%
9(9)	新日鉄住金エンジニアリング(株)	134,389	2%
10(12)	東京ガス株式会社	133,299	2%
11(10)	伊藤忠エネクス株式会社	131,299	2%
12(16)	イーレックス株式会社	114,095	2%
13(11)	ミツロコグリーンエネルギー株式会社	112,791	2%
14(13)	ダイヤモンドパワー株式会社	102,974	2%
15(14)	エネサーブ株式会社	102,888	2%
16(15)	昭和シェル石油株式会社	85,586	2%
17(17)	王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社	84,748	2%
18(19)	株式会社エナリス・パワー・マーケティング	71,052	1%
19(20)	大阪瓦斯株式会社	60,659	1%
20(18)	大和ハウス工業株式会社	57,723	1%
新電力上位20社 合計		4,531,348	81%
新電力 合計		5,613,138	-

平成28年7月の新電力の販売電力量シェア（電圧別）

小売取引

順位	特別高圧	高圧	低圧
1	株式会社エネット	株式会社エネット	東京ガス株式会社
2	株式会社 F-Power	株式会社 F-Power	大阪瓦斯株式会社
3	丸紅新電力	丸紅新電力	J X エネルギー株式会社
4	J X エネルギー株式会社	オリックス株式会社	K D D I 株式会社
5	新日鉄住金エンジニアリング(株)	日本テクノ株式会社	株式会社東急パワーサプライ
6	サミットエナジー株式会社	テプコカスタマーサービス	株式会社ケイ・オプティコム
7	ダイヤモンドパワー株式会社	J X エネルギー株式会社	株式会社サイサン
8	テプコカスタマーサービス	伊藤忠エネクス株式会社	株式会社ジェイコムウエスト
9	アーバンエナジー株式会社	サミットエナジー株式会社	大阪いずみ市民生活協同組合
10	エネサーブ株式会社	イーレックス株式会社	東燃ゼネラル石油株式会社
11	パナソニック株式会社	ミツロコグリーンエネルギー株式会社	北海道瓦斯株式会社
12	株式会社シナジアパワー	エネサーブ株式会社	SBパワー株式会社
13	昭和シェル石油株式会社	王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社	サミットエナジー株式会社
14	凸版印刷株式会社	昭和シェル石油株式会社	中央電力エナジー株式会社
15	キヤノンマーケティングジャパン株式会社	株式会社エナリス・パワー・マーケティング	株式会社Loop
16	株式会社NTTファシリティーズ	ダイヤモンドパワー株式会社	静岡ガス&パワー株式会社
17	株式会社グローバルエンジニアリング	新日鉄住金エンジニアリング(株)	株式会社ジェイコムイースト
18	伊藤忠エネクス株式会社	大和ハウス工業株式会社	イーレックス・スパーク・マーケティング株式会社
19	株式会社エナリス・パワー・マーケティング	株式会社グローバルエンジニアリング	HTBエナジー株式会社
20	出光グリーンパワー株式会社	株式会社洸陽電機	株式会社パネル

卸電力取引所取引のサマリー（2016年9月）

卸電力取引所取引

- 2016年9月の卸電力取引所取引のサマリーは、次のとおり（括弧内は前年同時期の値）。

		対象期間	参考（過去3ヶ月）		
		2016年9月	2016年8月	2016年7月	2016年6月
JEPX取引会員数※1		114社	114社	115社	112社
スポット市場	売り入札量	91億kWh (92億kWh)	88億kWh (89億kWh)	90億kWh (94億kWh)	69億kWh (69億kWh)
	買い入札量	49億kWh (27億kWh)	53億kWh (34億kWh)	49億kWh (31億kWh)	44億kWh (26億kWh)
	約定量	19億kWh (12億kWh)	20億kWh (14億kWh)	19億kWh (15億kWh)	16億kWh (12億kWh)
	平均約定価格 (システムプライス)	7.92円/kWh (8.23円/kWh)	8.68円/kWh (11.28円/kWh)	8.12円/kWh (11.22円/kWh)	7.81円/kWh (11.86円/kWh)
	東西市場分断発生率	78.1% (97.0%)	65.7% (62.2%)	66.1% (49.1%)	64.3% (14.0%)
時間前市場※2	約定量	1.5億kWh	1.6億kWh	1.5億kWh	0.97億kWh
先渡市場	約定量、約定件数	0.05億kWh、14件 (0.00億kWh、0件)	0.13億kWh、34件 (0.51億kWh、9件)	0.08億kWh、18件 (0.03億kWh、8件)	0.03億kWh、4件 (0.01億kWh、4件)

※1 9月30日をもって、豊通ニューエナジー株式会社が脱退したため、10月1日時点においては113社となった。

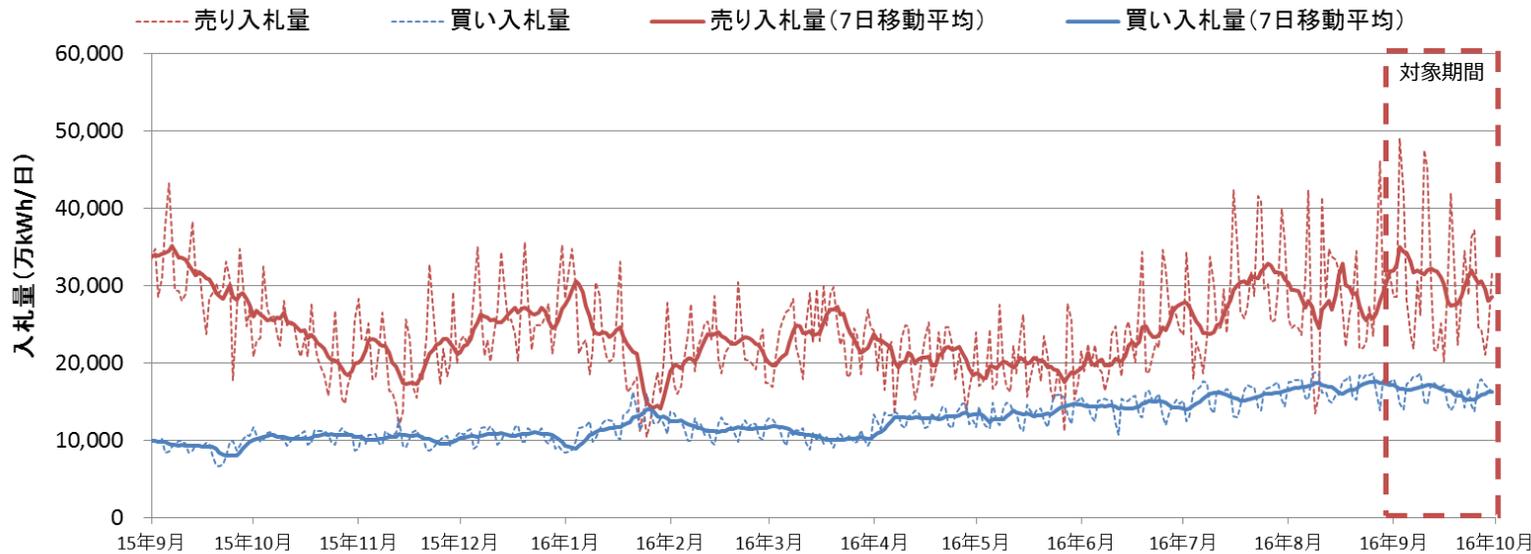
※2 2016年4月より、時間前市場は4時間前市場（シングルプライスオークション方式）から1時間前市場（ザラバ方式）となった。市場が異なるため、昨年同時期の値は掲載していない。

スポット市場の入札量

卸電力取引所取引

- 2016年9月におけるスポット市場の入札量は、売り入札量91億kWh、買い入札量49億kWhであった。
- 売り入札量は8月（88億kWh）と比べて増加した一方で、買い入札量は8月（53億kWh）と比べて減少した。
- 前年同時期対比は、売り入札量は横ばい、買い入札量は1.8倍となっている。

スポット市場 入札量の推移
(2015年9月1日～2016年9月30日)



主要データ

売り入札量
(2016年9月)
91 億kWh

売り入札量の前年同時期対比
(対2015年9月)
1.0 倍

買い入札量
(2016年9月)
49 億kWh

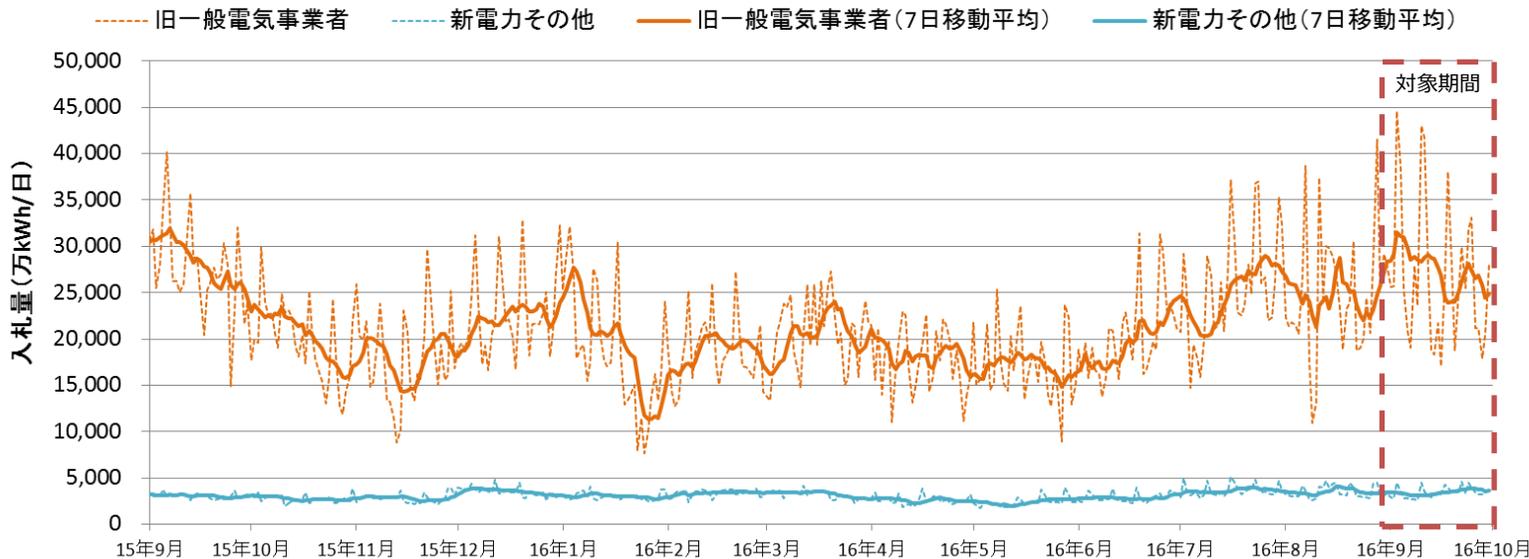
買い入札量の前年同時期対比
(対2015年9月)
1.8 倍

事業者区分別のスポット市場売り入札量

卸電力取引所取引

- 2016年9月におけるスポット市場の売り入札量は、旧一般電気事業者は80億kWh、新電力その他の事業者は10億kWhであった。
- 旧一般電気事業者による売り入札量は8月（77億kWh）と比べて増加している一方で、新電力による売り入札量は8月（11億kWh）と比べて減少した。以前から引き続いて、スポット市場の売り入札量の大部分が旧一般電気事業者によるものとなっている（全体の約89%）。
- 前年同時期対比は、旧一般電気事業者は横ばい、新電力その他の事業者は1.1倍となっている。

スポット市場 売り入札量の推移
(2015年9月1日～2016年9月30日)



主要データ

旧一般電気事業者による
売り入札量
(2016年9月)
80 億kWh

旧一般電気事業者による
売り入札量の前年同時期対比
(対2015年9月)
1.0 倍

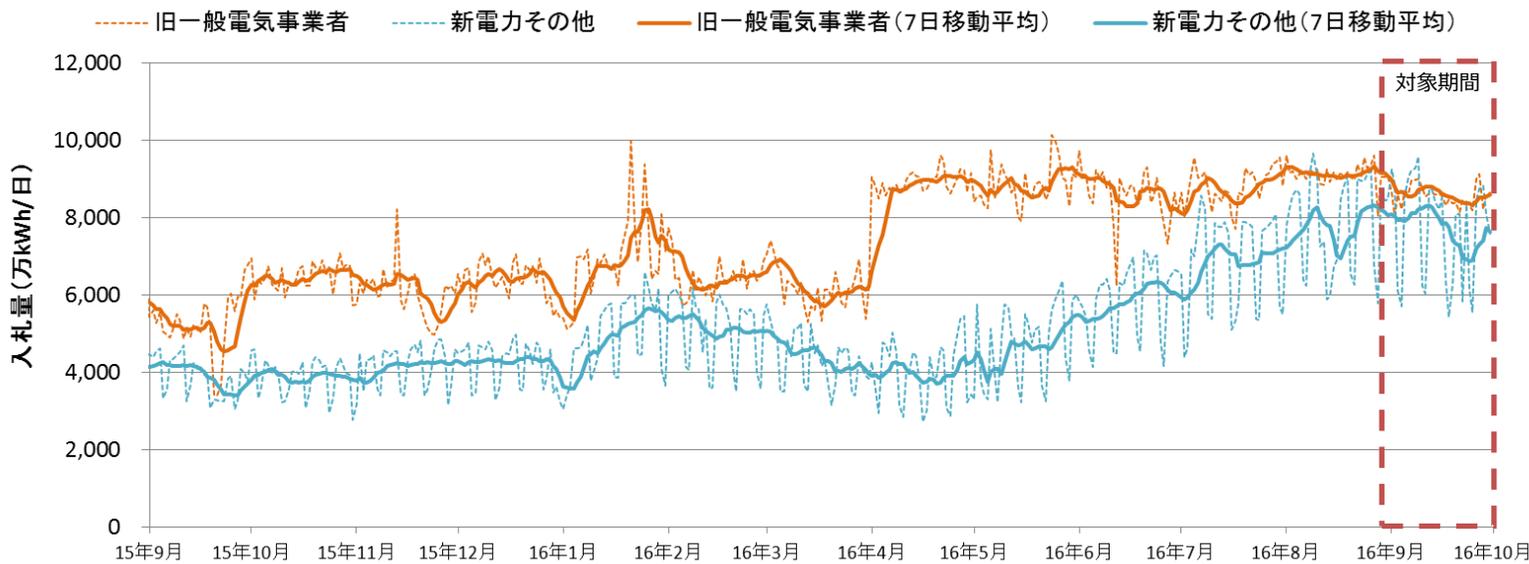
新電力その他の事業者による
売り入札量
(2016年9月)
10 億kWh

新電力その他の事業者による
売り入札量の前年同時期対比
(対2015年9月)
1.1 倍

事業者区分別のスポット市場買い入札量

- 2016年9月におけるスポット市場の買い入札量は、旧一般電気事業者は26億kWh、新電力その他の事業者は23億kWhであった。
- 旧一般電気事業者による買い入札量は、8月（28億kWh）と比べて減少した。新電力その他の事業者による買い入札量についても、5月以降8月まで増加傾向にあったものの、9月においては8月（25億kWh）と比べて減少した。
- 前年同時期対比は、旧一般電気事業者は1.6倍、新電力その他の事業者は2.0倍となっている。

スポット市場 買い入札量の推移
(2015年9月1日～2016年9月30日)



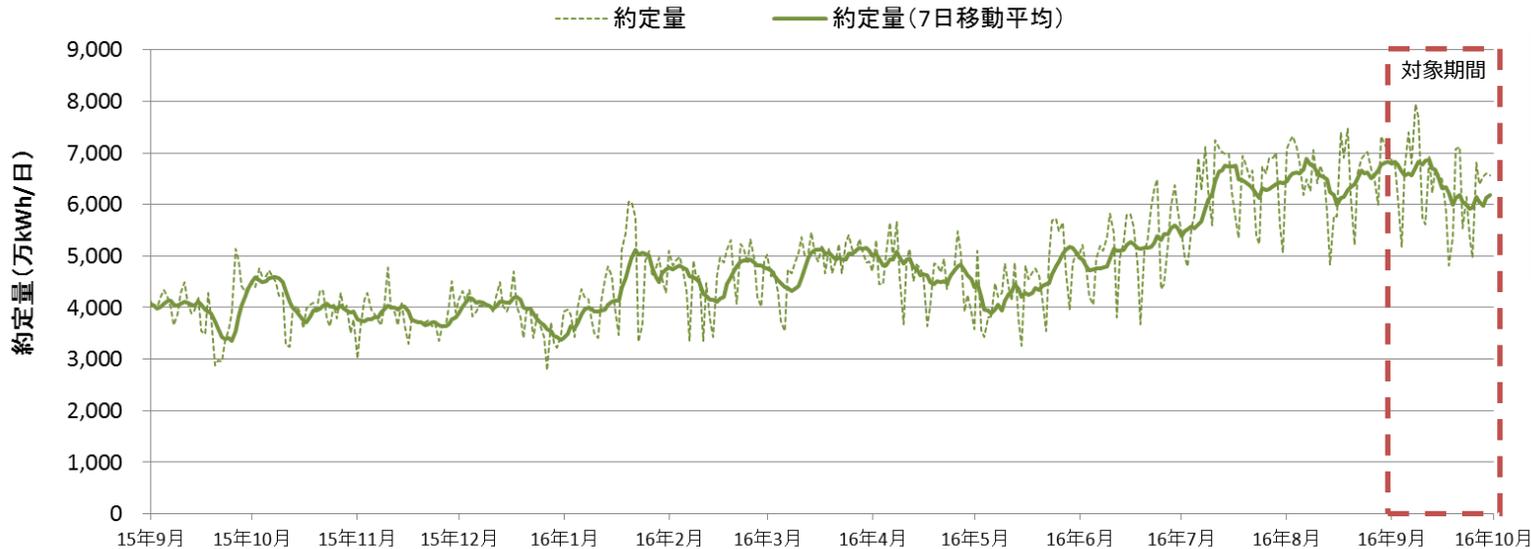
主要データ

旧一般電気事業者による 買い入札量 (2016年9月)	26 億kWh
旧一般電気事業者による 買い入札量の前年同時期対比 (対2015年9月)	1.6 倍
新電力その他の事業者による 買い入札量 (2016年9月)	23 億kWh
新電力その他の事業者による 買い入札量の前年同時期対比 (対2015年9月)	2.0 倍

スポット市場の約定量

- 2016年9月におけるスポット市場の約定量の合計は19億kWhであった。
- 約定量は9月中旬以降減少傾向にあり、8月の約定量（20億kWh）に比べて減少した。
- 前年同時期対比は1.6倍となっている。

スポット市場 約定量の推移
(2015年9月1日～2016年9月30日)



主要データ

約定量 (2016年9月)
19 億kWh
約定量の前年同時期対比 (対2015年9月)
1.6 倍

事業者区分別のスポット市場売り約定量

卸電力取引所取引

- 2016年9月におけるスポット市場の売り約定量は、旧一般電気事業者は12億kWh、新電力その他の事業者は7億kWhであった。
- 9月中旬において、旧一般電気事業者による売り約定量が減少した一方で、新電力その他の事業者による売り約定量は増加し、その差が縮まった。
- 前年同時期対比は、旧一般電気事業者は2.2倍、新電力その他の事業者は横ばいとなっている。

スポット市場 売り約定量の推移
(2015年9月1日～2016年9月30日)

主要データ

旧一般電気事業者による
売り約定量
(2016年9月)

12 億kWh

旧一般電気事業者による
売り約定量の前年同時期対比
(対2015年9月)

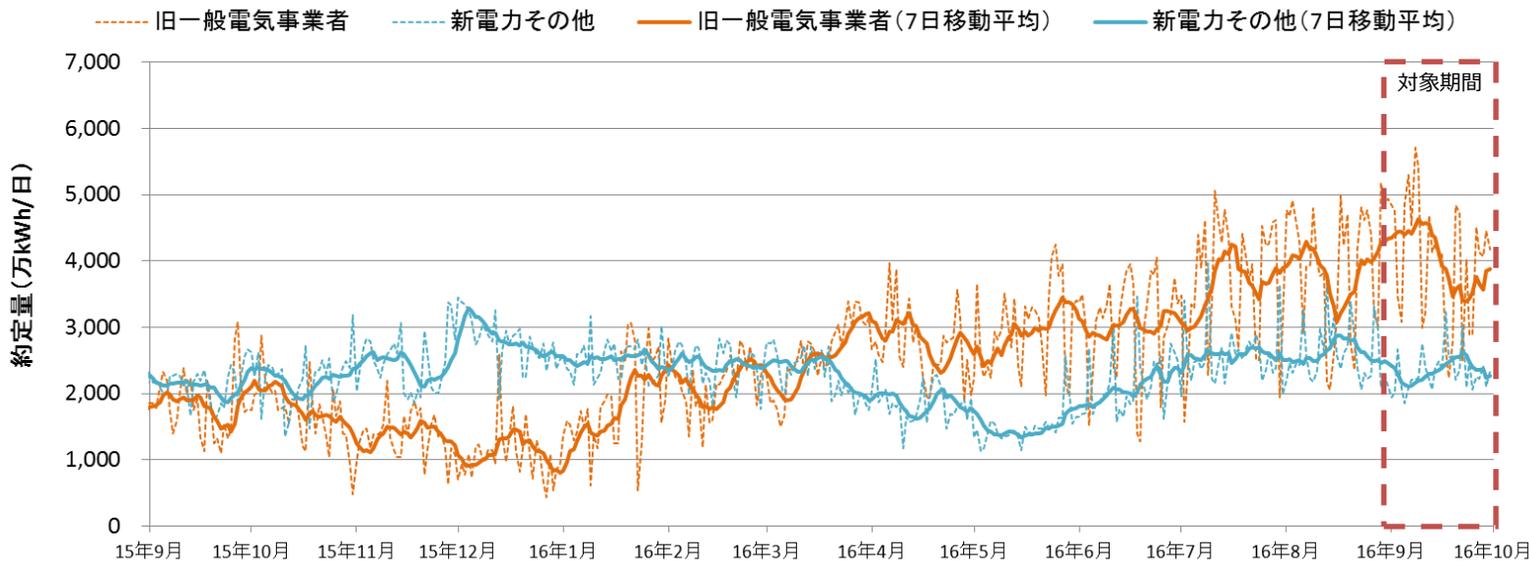
2.2 倍

新電力その他の事業者による
売り約定量
(2016年9月)

7 億kWh

新電力その他の事業者による
売り約定量の前年同時期対比
(対2015年9月)

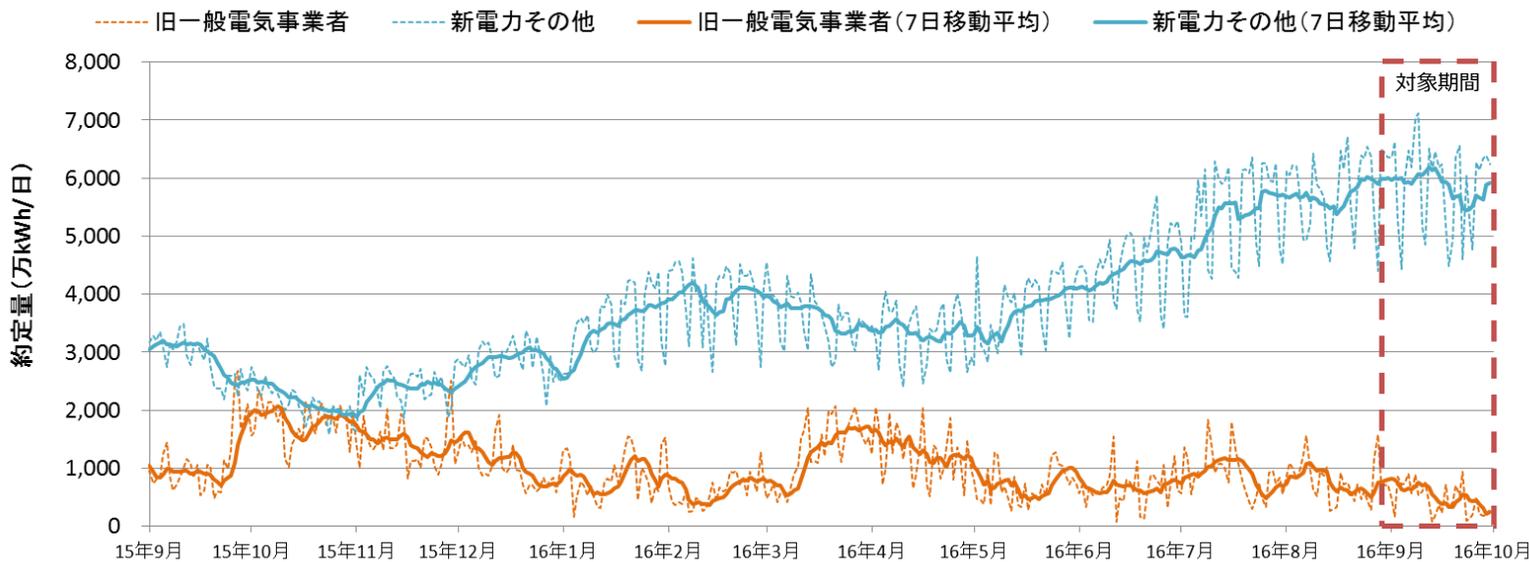
1.1 倍



事業者区分別のスポット市場買い約定量

- 2016年9月におけるスポット市場の買い約定量は、旧一般電気事業者は1億kWh、新電力その他の事業者は18億kWhであった。
- 5月から8月にかけて、新電力その他による買い約定量が増加していたところ、9月は8月（18億kWh）と同程度であった。一方で、旧一般電気事業者による買い約定量は8月（2億kWh）から減少し、その差が広がった。
- 前年同時期対比は、旧一般電気事業者は0.4倍、新電力その他の事業者は2.1倍となっている。

スポット市場 買い約定量の推移
(2015年9月1日～2016年9月30日)



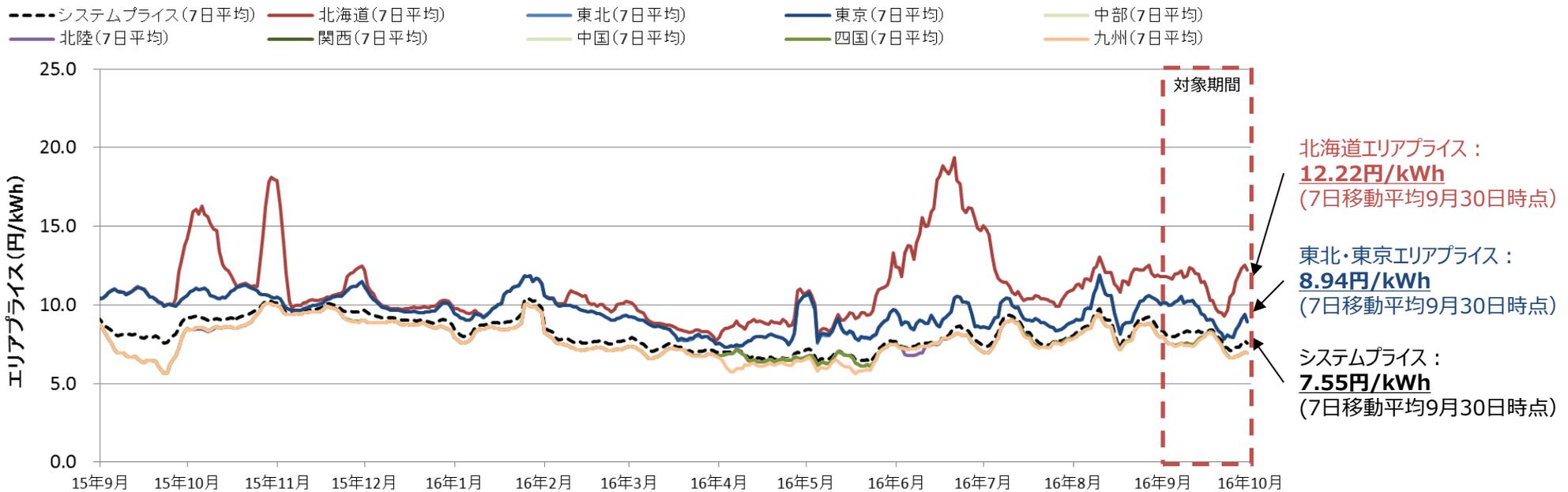
主要データ

旧一般電気事業者による 買い約定量 (2016年9月)	1 億kWh
旧一般電気事業者による 買い約定量の前年同時期対比 (対2015年9月)	0.4 倍
新電力その他の事業者による 買い約定量 (2016年9月)	18 億kWh
新電力その他の事業者による 買い約定量の前年同時期対比 (対2015年9月)	2.1 倍

スポット市場のエリアプライス

- 2016年9月におけるエリアプライス（7日移動平均）の推移を見ると、前月に引き続いて、北海道・東北・東京のエリアにおいてシステムプライスとの値差が生じており、9月末においては、システムプライス7.55円/kWhに対し、北海道エリアプライスは12.22円/kWh、東北・東京エリアプライスは8.94円/kWhとなっている。

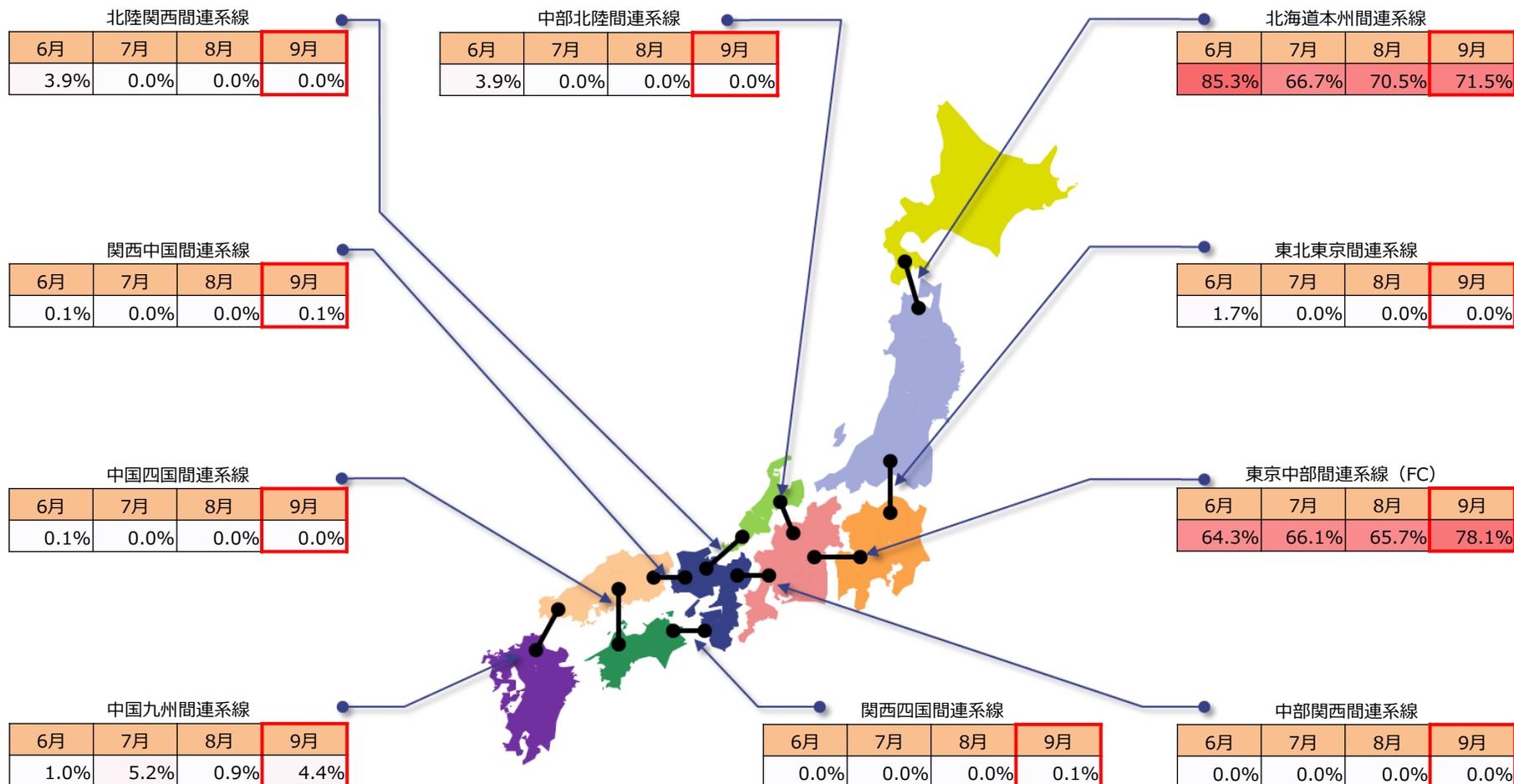
スポット市場 エリアプライスの推移 (2015年9月1日～2016年9月30日)



各地域間のスポット市場分断状況

- 各地域の市場分断状況を見ると、2016年9月においては、北海道本州間連系線は71.5%、東京中部間連系線は78.1%の頻度で分断が発生した。

各地域間連系線の月別分断発生率



※ 表中の数値（パーセント）は、各連系線における市場分断の発生率（各月の取扱い商品数（30分毎48コマ/日 × 日数）のうち、市場分断が発生した商品数の比率）を示す。

※ 市場分断の発生には、連系線の作業が原因で発生しているものを含む。

北海道本州及び東西の市場分断発生率

卸電力取引所取引

- 2016年9月においては、北海道本州の分断発生率（下図の赤線）及び東西の分断発生率（下図の青線）は、どちらも上旬は増加するも、中旬にいったん減少し、その後再び増加した。9月末においては、北海道本州分断発生率は79%、東西分断発生率は80%となっている。

北海道本州及び東西の市場分断発生率の推移 (2015年9月1日～2016年9月30日)



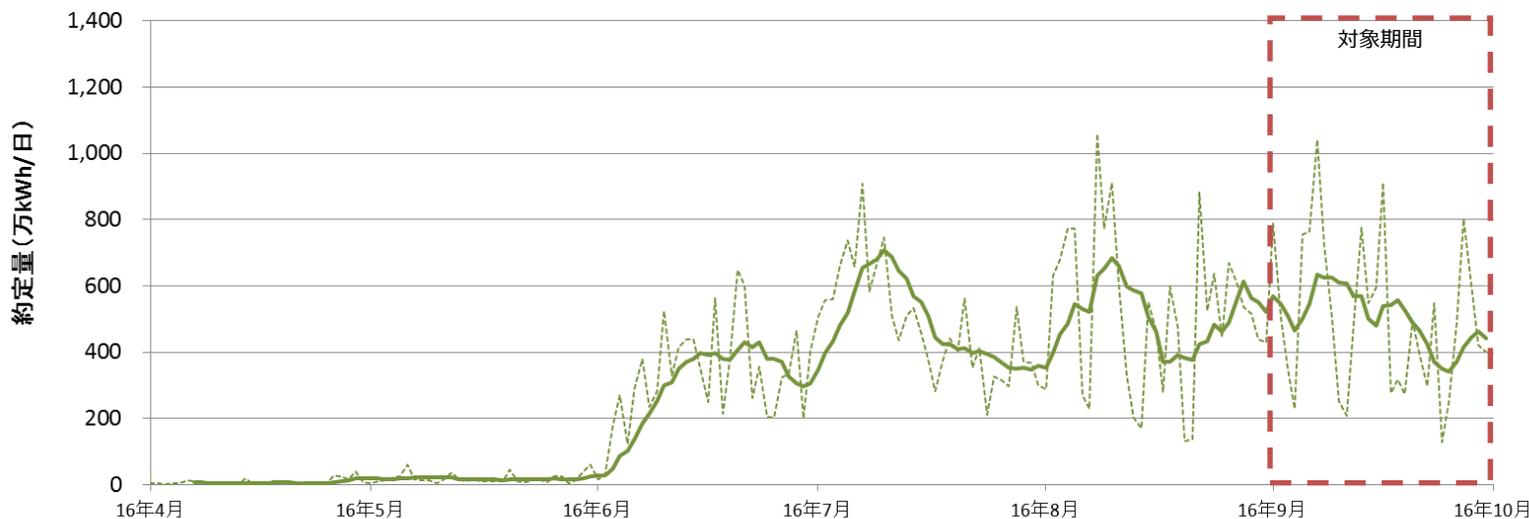
※ 表中の数値（パーセント）は、各連系線における市場分断の発生率（各月の取扱い商品数（30分毎48コマ/日 × 日数）のうち、市場分断が発生した商品数の比率）を示す。
※ 市場分断の発生には、連系線の作業が原因で発生しているものを含む。

時間前市場の約定量

- 2016年9月における時間前市場の約定量の合計は1.5億kWhであった。
- 2016年9月においては約定量は減少傾向にあり、8月の約定量（1.6億kWh）に比べて減少した。

時間前市場 約定量の推移
(2016年4月1日～2016年9月30日)

----- 約定量 ———— 約定量(7日移動平均)



主要データ

約定量 (2016年9月)
1.5 億kWh

※ 2016年4月より、時間前市場は4時間前市場（シングルプライスオークション方式）から1時間前市場（ザラバ方式）となった。市場が異なるため、2016年3月以前のグラフ及び前年同時期対比の値は掲載していない。